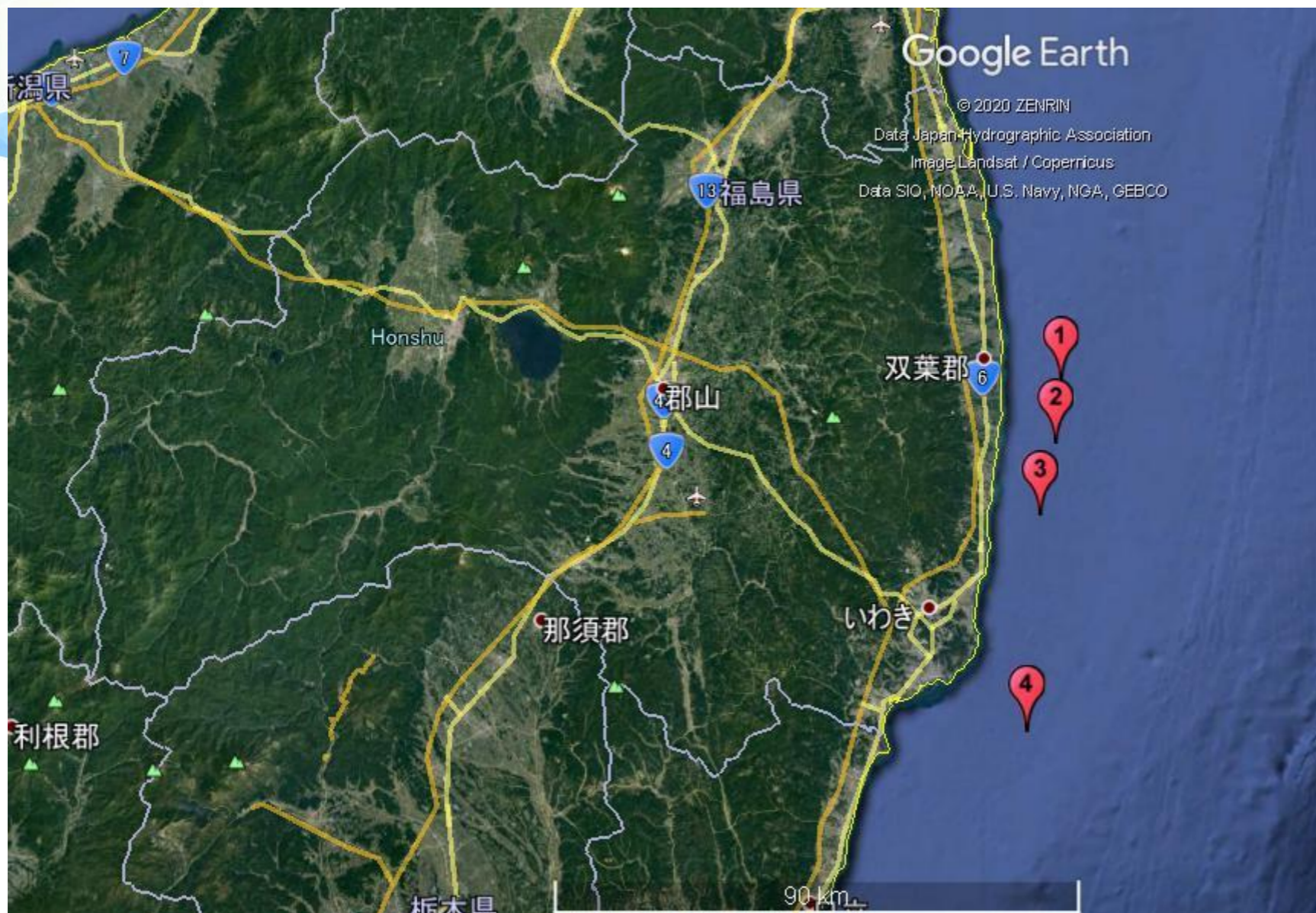


# 海水採取地点



福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。  
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域で試料の採取をしています。  
※1.5km以内は東京電力の敷地となっています

# 海水採取地点



- ① 福島第一原発沖
- ② 福島第二原発沖
- ③ 双葉郡広野沖
- ④ いわき市小名浜沖

## 海水の測定方法について

海水のセシウムとストロンチウム90の測定には、採取した海水をろ紙でろ過した海水を試料として使います。しかし、海水をろ過することにより、細かい砂や肉眼では確認できない小さな生きものは、ろ紙に吸着され、測定する海水部分に含まれないようになってしまいます。そのため、それらの浮遊物(砂や生き物)に含まれる放射性物質の測定値を知ることはできません。

そこで、たらちね では、日常の中の海水とはどういう状態のものか? を考えました。その結果、細かい砂や生き物も含めた海の水 全体か海水なのではないかという結論に至りました。したがつて、たらちねでは、たらちね以外の分析機関で測定するのと同じく、ろ過した海水の測定を行うと同時に、海水の中に浮遊している 砂や生き物の測定も行なっています。

海水の測定結果と浮遊物(砂や生き物)の測定結果は、それぞれに項目を分けて設けています。浮遊物の測定値は、その地点の1Lの海水中に含まれる浮遊物の放射性物質の濃度となります。

# 第4回 2016年9月3日 【福島第一原子力発電所沖】

【海水 測定結果】	海水 表層		海水A 表層		海水A 下層		海水B 表層		海水B 下層	
北緯	37° 23'		37° 24'		37° 24'		37° 24'		37° 24'	
東経	141° 02'		141° 02'		141° 02'		141° 02'		141° 02'	
水温	25.1 °C		24.3 °C		24.3 °C		25.1 °C		25.1 °C	
水深	—									
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/L)	0.082±0.009	0.015	0.085±0.011	0.018	0.135±0.012	0.020	0.102±0.011	0.018	0.079±0.011	0.017
自由水型トリチウム (Bq/L)	ND	3.05	ND	3.41	ND	4.96	ND	3.05	3.93	3.93
ストロンチウム90 (Bq/L)	0.0009±0.0001	0.0004	0.0012±0.0002	0.0005	0.0007±0.0002	0.0005	0.0012±0.0002	0.0005	ND	0.0005

【魚 測定結果】	アイナメ		アイナメ		ヒラメ		ヒラメ	
重量	0.560 kg		0.170 kg		0.852 kg		1.774 kg	
体長	36 cm		25 cm		43 cm		57 cm	
北緯	37° 20'				37° 21'			
東経	141° 03'				141° 05'			
水温	—							
水深	—							
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/kg生)	6.42±1.84	2.05	11.43±5.99	1.00	ND	1.63	3.10±0.95	0.92
セシウム134	ND	1.89	ND	1.00	ND	1.51	ND	0.84
有機結合型トリチウム (Bq/kg乾)	—		—		ND	2.10	ND	1.40
ストロンチウム90 (Bq/kg乾)	ND	0.21	—		ND	0.15	0.37±0.12	0.18

- ※ ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。
- ※ 海水→自由水型トリチウムとは、環境中や生物体内に水の状態が存在するトリチウムのことです。
- ※ 魚→有機結合型トリチウムとは、環境中や生物体内の炭素・酸素などに結合して存在するトリチウムのことです。